

**アテネオリンピック開催で「スポーツ」チャンネル全体の利用者が 250 万人増
チャンネル別利用者数ランキングではヤフーが 全 31 チャンネル中 29 チャンネルで首位を獲得
～ ネットレイティングス、主要ポータルサイトの「チャンネル分析レポート 8 月度版」を発表**

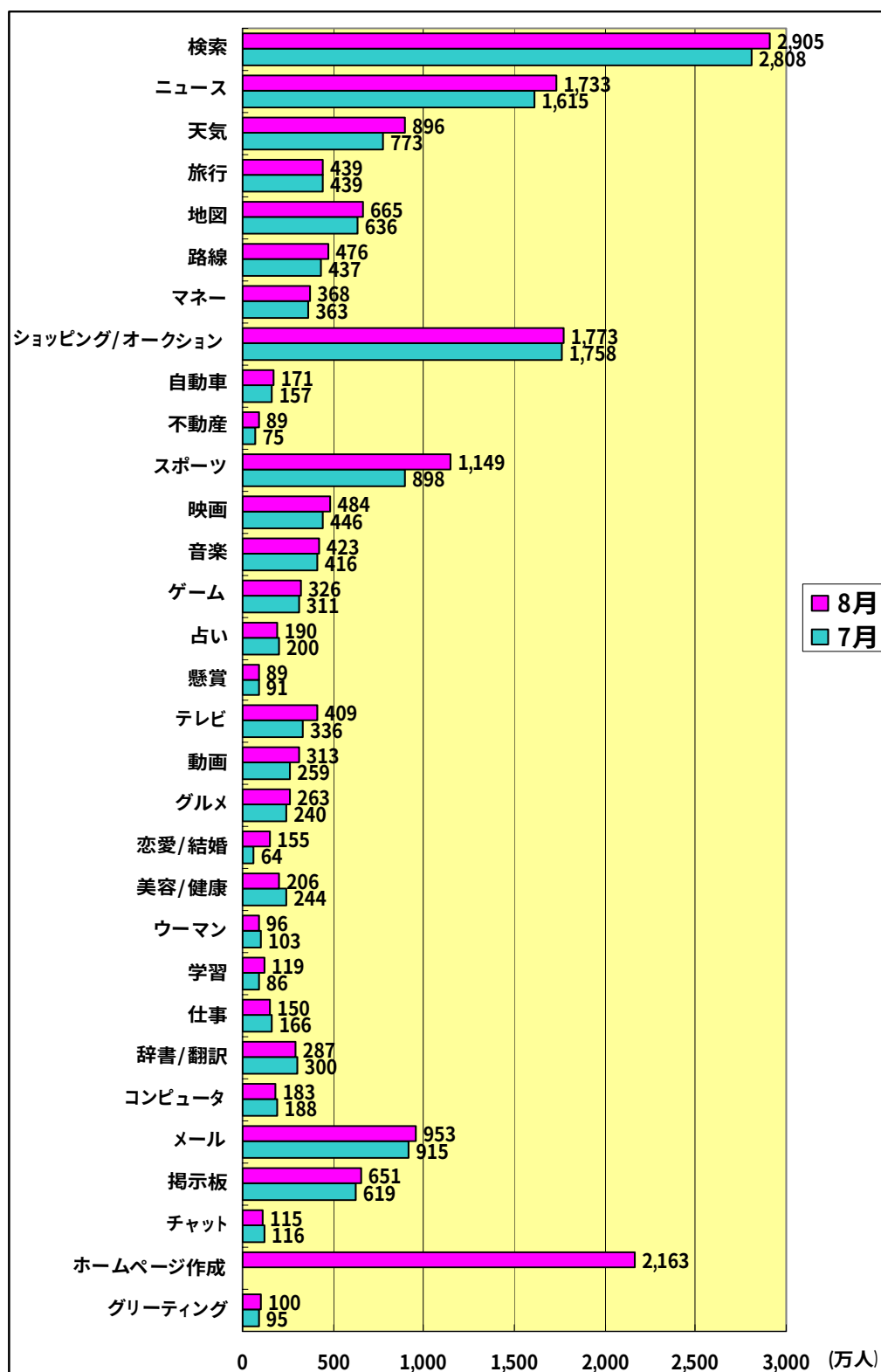
ネットレイティングス株式会社 (本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長: 萩原雅之) は、主要ポータルサイトにおけるコンテンツ別利用状況をまとめた「チャンネル分析レポート 8 月度版」を発表しました。

それによると、8 月のチャンネル別利用状況ではアテネオリンピック開催の影響を大きく受け、「スポーツ」チャンネル全体の利用者が 7 月より 250 万人あまり増加し 1,150 万人となりました。同じ理由から「ニュース」チャンネルが対前月比 118 万人増、「テレビ」チャンネルが 72 万人増となっています。また、度重なる台風の上陸により「天気」チャンネルの利用者も 123 万人増加しました。チャンネル全体利用者数順では 1 位が「検索」、次いで「ホームページ作成 (含む個人ホームページの閲覧)」、「ショッピング/オークション」、「ニュース」の順で利用者が多くなっています。(図表 1)

チャンネル別利用者数ランキングではネットレイティングスが定義する 31 チャンネル中 29 チャンネルの利用者数でヤフーが首位を獲得していることがわかりました。ヤフーが首位の座を譲った残り 2 つのチャンネルは「翻訳」と「ウーマン」のみで、「翻訳」チャンネルでは Excite が提供する「Excite 翻訳」等に次ぐ僅差の 3 位、「ウーマン」チャンネルに関してヤフーは該当するコンテンツをチャンネルとして提供していません。ウェブサイト全体の利用者数では他のポータルサイトを圧倒的に凌駕しているヤフーですが、各コンテンツ単位でも幅広く支持を得ています。(図表 2)ポータルサイトは検索機能やディレクトリーの提供によりインターネットの玄関として機能していますが、ヤフーの場合は玄関であると同時にヤフー自身がディストネーション (行き先) となっており、このことが月間 80%以上のリーチ獲得を支えていると考えられます。

一方、他のポータルサイトは Excite 翻訳を一例としてヤフーに対抗しうるコンテンツの提供により独自色を打ち出して、強いヤフーに対抗していく傾向が見られます。弊社代表取締役社長兼チーフアナリストの萩原雅之は「ヤフーは日本のインターネットの縮図であり、そこに日本のインターネット上の全てが集約されていると言っても良いでしょう。しかし、月間に 1 度もヤフーを利用しないというインターネットユーザーが全体の 2 割いることも事実です。ヤフーに対抗するポータルサイトはこの 2 割の層に対していかに魅力あるコンテンツを提供するかが今後の課題となるでしょう。」と話しています。

図表1 チャンネル別利用者数増減(家庭からのPCによるアクセス、2004年7月-8月)



* 「ホームページ作成」チャンネルは8月より新設しました。

* 「恋愛/結婚」チャンネルは8月より集計定義を変更し、集計対象URLを拡大しています。

図表2 主要ポータルサイトにおけるチャンネル別利用者数の順位
(上位3サイト、数字は順位、家庭からのPCによるアクセス、2004年8月)

チャンネル	総利用者数 (千人)	Yahoo!	MSN	goo	infoseek	@nifty	BIGLOBE	excite	Rakuten
検索	29,051	1	2	3					-
ニュース	17,326	1	2		3				-
天気	8,963	1	2	3					-
旅行	4,388	1	2			3			-
地図	6,645	1	3	2					-
路線	4,756	1	2	3			NA		-
マネー	3,675	1	2				3		-
ショッピング/オークション	17,733	1	3						-
自動車	1,712	1	2			3			2
不動産	891	1	2				3		-
スポーツ	11,489	1	2			3		NA	-
映画	4,835	1	3	2					-
音楽	4,226	1		3				2	-
ゲーム	3,255	1		3		2			-
占い	1,895	1	2			3			-
懸賞	894	1	3				2		-
テレビ	4,085	1	NA	2	3	NA			-
動画	3,133	1	NA	3			2		-
グルメ	2,630	1	2	3		NA			-
恋愛/結婚	1,546	1	2			NA		3	-
美容/健康	2,055	1	2			3		NA	-
ウーマン	955	NA	NA	NA	2	3	NA	1	-
学習	1,188	1	2		3				-
仕事	1,497	1	2		3				-
辞書/翻訳	2,872	3		2				1	-
コンピュータ	1,828	1	3		NA		2		-
メール	9,532	1	2	3					-
掲示板	6,510	1	NA	3	2	NA			-
チャット	1,148	1	2	NA	3	NA			-
ホームページ作成	21,628	1	NA		3	2			-
グリーティング	998	1				3	2		-

*NA は該当するチャンネルがないもの

*楽天は「ショッピング/オークション」チャンネルのみを対象にレポートしています。

*「恋愛/結婚」チャンネルは8月より集計定義を拡大し、友達・出会い系コンテンツを合わせて集計しています。

■ チャンネル分析レポートについて

「チャンネル分析レポート」はポータルサイトなどの複数のコンテンツ区分(チャンネル)を持つウェブサイトの各コンテンツ単位の利用状況を明らかにするものです。

主要ポータルサイトでは様々なコンテンツがチャンネルとして提供されていますが、URL が複数のドメイン

ン、サブドメインあるいはディレクトリで構成されているケースが多く、従来のドメイン、サブドメイン単位の集計レポートではその利用実態を把握することはできませんでした。「チャンネル分析レポート」では「検索」、「ニュース」、「天気」、「地図」、「懸賞」、「ショッピング/オークション」、「映画」、「音楽」、「スポーツ」、「ゲーム」、「仕事」などのコンテンツをチャンネルとして括り、ドメインやサブドメインが同じ、あるいは異なっている場合でも同一のカテゴリーのコンテンツであればその対象 URL の全てを集計し、チャンネル別に全体の利用状況を明らかにすることが可能となります。

「チャンネル分析レポート」は当面、日本を代表する8つの主要ポータルサイト（「Yahoo! Japan」、「MSN」、「infoseek」、「楽天」、「goo」、「@nifty」、「Biglobe」、「excite」）のチャンネルを対象に集計、レポートをおこないます。レポートではユニークオーディエンス、リーチ％、ページビュー、ひとりあたりの利用頻度、ひとりあたりのページビュー、ひとりあたりの利用時間の各分析指標と利用者の属性情報が集計されています。これにより各ポータルサイト運営者並びにニュース、就職、ショッピング等の各専門サイト運営者は競合ウェブサイトのチャンネル単位での利用状況を比較分析できるようになります。「チャンネル分析レポート」は月単位で集計され、パッケージレポートとして販売（月額 315,000 円・税込）いたします。

インターネット利用動向調査 Nielsen//NetRatings は、全世界にてリアルタイムのインターネット利用動向情報および広告出稿状況情報の収集と提供を行っているインターネット・オーディエンス・メジャーメントの世界標準で、世界のインターネット・ユーセージの 70 パーセントをカバーしています。米国ネットレイティングス社 (NASDAQ: NTRT <http://www.netratings.com/>) は、1997 年に創立されました。現在、米国ネットレイティングス社ではインターネット利用動向情報 NetView Audience Measurement をはじめとする各種リサーチと分析を通じ顧客のインターネット・ビジネスにおける重要な意思決定に貢献しています。ネットレイティングス株式会社は米国ネットレイティングス社との合併会社として 1999 年 5 月に設立されました。Nielsen//NetRatings のサービス概要及びネットレイティングス株式会社の会社概要は、<http://www.netratings.co.jp/> でご覧になれます。

【ネットレイティングス株式会社 会社概要】

会社名	ネットレイティングス株式会社
英文社名	NetRatings Japan Inc.
本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-25-18 渋谷ガーデンフロント10階
資本金	4億346万円
設立	1999年5月
代表者	代表取締役会長兼最高経営責任者 狩野 昌央 (かのう まさひろ) 代表取締役社長兼最高執行責任者 萩原 雅之 (はぎはら まさし)
主要株主	NetRatings Inc. (U.S.A)、トランス・コスモス株式会社、株式会社電通ドットコム

#

本件に関するお問い合わせ先:

ネットレイティングス株式会社 広報担当 西村 総一郎
電話:(03)4363-4200